

## News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mobara City Assembly

### 次世代育成支援計画が策定されます

#### 子供を安心して産み育てる環境整備を！



梅雨も開け、蒸し暑い毎日が続いていますが、皆様にはますますご健勝の事とお慶び申し上げます。地球温暖化の影響もあるのでしょうか、年々、暑さが増してくるような気がします。皆様、夏バテをしないように十分、健康管理に気をつけてお過ごし下さい。

さて、去る6月に厚生労働省から2003年の合計特殊出生率が、過去最低の1.29となった事が明らかになりました。この数字は2002年の1.32を大きく下回り、少子化は予測を上回るスピードで進行しており、成立したばかりの年金改革関連法の前提にも狂いが生じるなど、将来を見据えたとき「少子化問題」は早急に取り組むべき重要課題となっています。

また、少子化は茂原市においても例外ではなく、平成8年の1.40から年々減少し、平成14年においては1.31となっている状況です。

このような少子化の流れを変えるため、国は昨年、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」を成立し、この法律により、地方自治体・事業主は10年間の行動計画書を16年度末までに策定する事を義務づけられました。現在、茂原市においても、合併を前提として長生郡市7カ市町村で策定する方向で進められていますが、同様に千葉県も「健康福祉千葉方式」により策定が進められており、今後、県内各地でタウンミーティングを開催し、子育て中の父親、母親、さらに子供たちを初め広く県民の意見を反映した計画書を16年度中に策定しようと試みています。

現在、長生夷隅地域においても準備委員会を立ち上げ、こどもタウンミーティングを開催しようと、準備が進められている状況です。私は新市で策定する行動計画書も、子育ての現役世代や、これから子育てをする若い世代や子どもたちの意見を十分、反映した計画書を作成するために、何らかの手立てを模索すべきと思います。

今、子どもを生み育てることを社会がもっと評価し、次世代育成支援、いわゆる、次代を担う子どもやこれを育成する家庭を社会全体で支援することを速やかに、しかも強力に推進していくべきと考えます。



はつたに ちづえ

## 特集：平成16年6月議会から

平成16年第2回定例会（6月9日から24日までの会期16日間）において私が行った一般質問を取り上げます。

### ● 女性政策関連の「男女共同参画計画書」について

Q - ① 以前から、私が策定の提案をしていました「男女共同参画計画書」が、遅ればせながら、この3月に策定完了した。また、同様に提案していた「推進懇話会」の委員の公募枠も委員総数15人中、5人という3分の1の枠が設けられ、懇話会は18回程、開催され広く一般市民の意見も反映された計画書が出来上がったものと思うが、策定に当たり意識調査や懇話会で得られた意見や要望は、計画書にどのように反映されているのかお伺いする。

A - ① 各委員から出された意見や要望は、計画の中に全体的に反映されているものと考えられる。また、意識調査の結果、男女共同参画社会の意識が十分進んでいないと考えられる就労や社会通念の分野については、重点的に取り上げて項目として位置付けている。

Q - ② 本計画書には、具体的取り組む事業における数値目標が提示されていないが、より実効性のあるプランとするためにも、数値目標を明確に定め、目標の達成度合いを把握し易くすべきと思う。今後、計画の見直し時にこの点を検討してはいかがかと思うが見解を伺う。

A - ② 市としては共同参画に向けての意識の醸成を図る事を推進し、計画がある程度進んだ時点を見て、数値目標の設定を考えている。

### ● 児童虐待防止ネットワークの設置について

Q 昨今、児童虐待件数が増加している傾向の中、子どもや子育てを取り巻く問題の中で、児童虐待は最も大きな課題となっている。そこで、市内における各関係機関や地域関係者が連絡を密にし、取り組みを強化する事を目的とする「児童虐待防止ネットワーク」の設立を試みてはどうかと思いますが見解を伺う。

A 5月に開催した主任児童委員会会議において、ネットワーク設置の提案がなされ設置に向けての準備をするという事で確認された。現在、通報により虐待を疑う子供を発見した場合には、その対応を判断するため、児童が通っている学校・保育所・担当地区の主任児童委員・児童相談所職員等・関係者の参加により、情報の共有と共通認識を持つ中で、各機関の役割分担を話し合う検討会議を行っている。今後は虐待防止の啓発を進めて行く上で、市民に理解と協力が得られるよう、目に見えるような組織の設置も検討する。

### ● 退職時特別昇給制度について

Q 国家公務員が退職する際に、基本給を引き上げて退職金を増額するいわゆる、「退職時特別昇給制度」が5月1日から全廃となった。地方公務員の給与は国に準拠する事が基本です。県も同制度は全廃する方向性であり、茂原市においても財政的に非常に厳しい状況である事実を鑑みれば、然るべき手続きを踏み、職員団体の理解を得ながら全廃の方向で努力すべきと考えが当局の見解を伺う。

A 平成15年度中における退職者は合計21名。その内、退職時特別昇給制度を受けた職員は6名で一人当たり平均支給額は41万円であった。今後の対応は県内各地の動向、職員団体との協議を十分に行い、その協議を踏まえて廃止の検討をして行かなければならないと考える。

## はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを平成13年8月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp/> です。この他、ヤフー

検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。

